

本庄弥五郎

ほんじょう やぎごろう



林泉寺山門の天井に描かれている龍

高梨源五郎

たかなし げんごろう



義の塩

1568年、信玄が北条氏・今川氏との三国同盟を破って駿河に侵攻すると、今川氏は、北条氏と手を組み、報復措置として信玄の領国へ塩を送ることを全面的に禁止したのじゃ。今でいう経済封鎖政策じゃな。海のない信玄の領国は大混乱になったんじゃ。お館様はこれをお聞きになり、「信玄と争うところは戦にあり、米塩にあらず。」とおっしゃり、今までどおり信玄の領国に塩を送ったのじゃな。信玄の領民は、深くお館様に感謝したのじゃ。さすがは我らのお館様じゃ。

宿敵が語るお館様

最大の宿敵である武田信玄は、死にのぞんで「謙信と戦をしてはならぬ。謙信は頼まれれば嫌とはいわぬ男だ。わしが死んだら、頼れるのは謙信だけだ。」と嫡子の勝頼に遺言したそうじゃ。北条氏康も「信玄と信長は言動が裏腹で頼むにたらない。ひとり謙信だけは、うけおったら骨になるまで義理を通す。私が明日にも死んだら、あとを頼めるのは謙信だけだ。」と語ったそうじゃ。お館様の「義」の心は、宿敵達の心も動かしたのじゃ、やっぱりすごいう。

